

データの加工・分析

THUMGY Dataでのテーブルのデータの加工や分析は、主にメニューバーの《加工》および《分析》からメニューコマンドを選択して実行します。

◇機能一覧

メニューコマンド名		機能	実行結果の出力先
加工	抽出	既存のテーブルからレコードまたはフィールドを抽出し、新規テーブルを作成する	新規テーブルへ出力
	結合	2つのテーブルのレコードを結び付け、新規テーブルを作成する	新規テーブルへ出力
	統合	テーブルの末尾に別のテーブルのレコードを追加し、新規テーブルを作成する	新規テーブルへ出力
	新規フィールド追加	テーブルに新しいフィールドを追加する	既存テーブルへ出力
	並べ替え	指定されたフィールドの値でレコードを並べ替え、新規テーブルを作成する	新規テーブルへ出力
分析	要約	対象のフィールドの値ごとに集計する	画面出力または新規テーブルへ出力
	クロス集計	縦軸と横軸となるフィールドを指定して、2つの軸の値を元にデータをグループ化し、グループごとに、数値フィールドを集計する	画面出力または新規テーブルへ出力
	年齢調べ	指定した「基準日」からの日数の間隔ごとに値を集計する	画面出力または新規テーブルへ出力
	エクスポート	テーブルのデータを別のアプリケーションのファイルに書き出す	ファイル出力
サンプリング	サンプリング	テーブルから一部のレコードをサンプルとして抽出する	新規テーブルへ出力
	サンプルの評価	抽出したサンプルのテスト結果から、誤謬率/額が許容できる範囲にあるかどうかを評価する	画面出力

※メニューコマンドは、順次追加されます。

◇実行結果の出力先

メニューコマンドの実行結果は、テーブルに出力されるもの、画面に出力されるもの、外部アプリケーションのファイルに出力されるものがあります。

<画面出力の例（《要約》の実行結果）>

タブにはメニューコマンド名が表示されます。

操作の実行日時

操作の対象となったテーブル

操作の内容（スクリプト形式）

レコード件数など（コマンドによって異なります。）

実行結果

ドリルダウン機能
画面出力の場合で、実行結果の値がリンクになっている場合は、その値をダブルクリックすることで、関連するレコードを表示することができます。

日時	2023/02/24 11:10:20		
テーブル	売上データ2017上期		
コマンド	SUMMARIZE ON [営業担当者] SUBTOTAL [金額] OTHER TO SCREEN PRESORT		
出力件数	6件		
営業担当者	合計_金額	カウント件数	
2	0010	16,380	1
3	0021	434,950	7
4	0024	8,913,020	53
5	0038	36,200	2
6	0045	9,922,190	49
7	0052	10,293,430	49
合計		29,616,170	161

なお、出力先に関わらず、実行日時、対象テーブル、操作の内容などの情報は、ログに記録されています。